



新聞データベースは地域との懸け橋 vol.56

静岡中央新聞販売

新聞記事検索システム導入事例



データベースを活用して
お客様に記事を寄贈

私たちの仕事 Our work



星野 光正 社長

静岡中央新聞販売株式会社は1958年の創業以来「HANDtoHAND」のコミュニケーションを大切に、地域の情報基地として社会貢献を通じて業務を拡大してきました。

地域の情報基地として

ご家庭に新聞をお届けするだけでなく、地域の「防犯パトロール」や「見守りたい」活動に新聞販売店の中でもいち早く従事し、異変を発見し救助に結びつく活動を継続しています。また、「ベルマーク」を収集し市内や被災地の小中学校への提供、書店と提携した書籍の販売・配達や「サービスコンビニ」と連携している便利屋事業も大変好評です。

今後も「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」を活用し、地域の皆さまに貢献できるような事業を企画し実行していくことで、より地域のお客様に喜んでいただけるような新聞販売店を目指していきます。

地域の様子の変化に気付き、地域の方の思い出に残るようにと静岡新聞社に取材をお願いして紙面に掲載をしていただいたり、営業で伺ったお客様が主催するイベントも取材をお願いして、紙面に掲載していただいたケースがありました。このような時にも「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」を使って記事検索し、当該記事をプリントアウトしてお客様にお届けし、大変喜ばれております。

新聞をもっと身近な存在に感じていただく為に、今後は今まで以上にいろいろなところにアンテナを張り、私たちの身の回りで起きている出来事を紙面に掲載していただくチャンスを増やし、さらに「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」を活用していくことで、地域の方々と繋がっていきなよう努めていきたいと思ひます。 本部長 芦澤 和幸

「お子さんやお知り合いの方等、身近な方々の活躍が掲載された新聞をずっと保存してある」というお話をよく耳にします。過去の新聞記事へのニーズには、新聞記事データベースを活用すれば、検索で瞬時に記事を探せプリントアウトしてお客様にお渡すことが出来、重宝しております。

読者からは、「新聞に身近な人の話題が載るなんて嬉しい」「これを飾っておけば、子どもの活躍が載った紙面がいつでも見られて励みになる」等、新聞に親しみを持ったという声が数多く寄せられております。

地道な活動ですが、掲載紙面のプリントサービスにより、きっと今までより新聞を身近に感じていただけていることと思ひます。

新聞データベースで地域と繋がる

最近では、当社社員が毎日配達している

いますが、正にそのことを証明する出来事です。子どもたちに将来「新聞」のある生活を選んでもらえるよう、これからも「新聞」をもっと身近に感じてもらう企画を「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」で情報収集しながら考えていきたいと思ひます。

過去の新聞記事も瞬時に探せる

今回導入した「静岡新聞データベース plus 日経テレコン」は、新聞を身近に感じてもらうのに最適なツールだと思ひます。



マーケティング戦略に
データベースを活用する
スタッフ

信頼できる情報源を厳選し活用

昨今、インターネットやスマートフォンの普及で情報があふれ、従来よりも正確な情報を見抜き、自身の考えを持つ力が不可欠となってきました。これに一翼を担う存在として「新聞」が注目されています。

この「新聞」を幅広い年齢層の方々に利用してもらう為に、私たちが取り組んでいることが「未来読者の創造」活動です。

その一例として、毎年夏休みに行っている「新聞感想文書き方講座」があります。過去4回実施していますが、毎年参加されているお子さんは、初めて参加されるお子さんより仕上げる作品の量と質に明らかに差があることに気がきます。

池上彰氏や齋藤孝氏等の著名人が「新聞を読む子は学力が伸びる」とお話しをされて

[当サービスのご利用について] 静岡新聞データベースplus日経テレコンは、インターネットを通じて提供する有料・会員制のサービスです。サービスご利用には、契約お申し込みが必要です。[利用料金] サービスご利用には、ご契約の当初料金、月額固定料金がかかります。

地元密着の静岡新聞、国内外の経済情報を網羅する日本経済新聞の情報を同時に検索

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

■お問い合わせ 静岡新聞社 総合メディア局 TEL 054-284-9661 (平日 9:00~18:00)

静岡新聞データベース 日経

検索

<http://www3.shizushin.com/dbplus/>



静岡新聞

